

第13回 泉州地域リハ懇話会（泉州地域リハ連携会議、脳卒中地域連携パス運用会議含む）報告

日時：平成29年7月29日（土） 13:30～17:00

場所：浪切ホール4F 特別会議室（岸和田市）

参加者：79名（前：77名 中：79名 後：71名）

（話題）1. 事前アンケート結果からの検討

1) 胃瘻について

- ・急性期10割、回復期6割、療養型4割が自院で胃瘻造設実施（他は他院紹介）。
- ・意思決定難しく身寄りのない方への実施に課題（成年後見制度利用など）。

2) 栄養摂取方法など、転院直前での変更については熟考すべき。

3) 高次脳機能障害患者について

- ・退院後の直接的フォロー（外来、訪問リハなど）は、6割の病院で実施。
- ・就業・生活支援センターなどへの紹介は、急性期・回復期の6割の病院で実施。

（話題）2. 大阪府障がい者自立相談支援センターからの案内：「使たらええで帳」について

1) 高次脳機能障害の患者の情報交換ツール

- ・医療情報から就労関連情報まで記載できる。

2) 高次脳機能障害の方が利用できる社会資源についても掲載。

（話題）3. 講演「脳卒中とてんかん」：近畿大学医学部 脳神経外科 講師 中野 直樹 Dr

（話題）4. 脳卒中地域連携パス運用会議

1) 薬剤実態調査について（集計報告）

- ・H26.10.1～H29.3.31：有効データ334件中、急性期から転院時の変薬65件（19.5%）
（約5人に1人が服薬変更されている）
- ・施設採用抗凝固薬の相違による変薬：15件、治療上の必要性：11件、
後発品への変薬：12件 など

2) H28年度運用件数報告：330件（パス使用率55.6%）→ 過去最高

3) H29年度参加施設：92（管理病院5、連携病院25、診療所47、介護サービス事業所15）

- ＊前年より、2施設減少（診療所1、介護サービス事業所1）。

＊病院一覧、訪問リハ事業所一覧更新